



「みんなで楽しめる運動会」

5月18日(木)に運動会が実施されます。その取り組みが始まりました。運動会は3年生としての真価が問われると思います。城山中学校の運動会の目標は「みんなで楽しめる運動会」です。是非、各ブロックをまとめて、みんなの運動会を作り上げてください。

私が二十年前に城山中学校に赴任した時に、「みんなが楽しめる運動会」の原点となる話し合いが行われました。それは、全員リレーの競技の仕方をめぐる話し合いでした。私が赴任した時は、5組の生徒は全員リレーに参加していませんでした。車いすの生活をしている生徒やみんなと同じように走ることができない生徒がいたからです。得点種目である全員リレーに5組の生徒が参加すると「1位はとれなくなり、競技する前から順位が確定してしまう。」という理由から5組の生徒は参加することなく、生徒席で競技の応援していました。

私は、二十年前に赴任して支援級の担任をしました。支援級の生徒が私に「先生、全員リレー楽しそうですね。僕もみんなと走りたい。」と寂しそうに話しかけてきました。「そうだよね。でも全員リレーは得点種目なので、難しいと思うよ。」と私はその生徒に答えました。

職員会議で「全員リレーで5組の生徒も入れてください。」と提案しましたが、多くの先生方から「スピードが違すぎるので危険だ。競技をする前に順位が決まってしまう可能性が高いので、生徒が5組の生徒をリレーにいれることに納得しないのでは、」などの意見が出されて賛成されませんでした。しかし、運動会実行委員の生徒には、一応この件を確認して意見を聞いてみるということになりました。

運動会実行委員会で、「5組の全員リレーへの参加の要望」について話し合われました。「走る、スピードに差があるので、交流級は1位を目指すのに不利になる。」という意見が出されました。「みんなで楽しめる運動会の目標から言えば、5組の生徒もクラスの一員として参加してもらいたい」という意見も出てきて話し合いはヒートアップしました。3年生の実行委員が「私たちは、順位をつけるために運動会をするのではない。みんなで楽しみ絆を深めるために運動会をするのだから5組の生徒も私たちも精一杯走ればそれが一番素晴らしいことだと思う。」という意見を述べて、最後に「5組の生徒も参加する本当の意味の全員リレーとする。」ということになりました。私は、生徒の話し合いに感動しました。

その年の運動会、第一走者は車いすの生徒は30m、走るのが苦手な生徒は20mとそれぞれ5組の生徒が走れる距離を自分で決めて走りました。そして本当の全員リレーが実施されました。最後のクラスの生徒がゴールした時に大きな拍手が校庭を包みました。割れんばかりの拍手でした。

「みんなが楽しめる運動会」は城山中学校の生徒が作り上げたものでした。「みんなで楽しめる運動会」今年も実現してくださいね。みなさんの手で……。